





# わが社の すぱりーん

○○○○○○○ 第276回

(有)大嶺ファーム  
代表取締役 上地 登 氏



上地 登 氏

宮古のマンゴー園で  
トップクラス規模の農  
業経営をされている  
田上社長は、ペルー出身  
で、日本に来たのは出  
稼ぎがきっかけでした。

## 農業を通して感動を共有

場(19,000m<sup>2</sup>)と、  
ブーゲンビリアが咲きみ  
だれ、マンゴーソフトが  
大変美味しいと評判の觀  
光農園ユートピアファーム  
を経営されている(有)大  
嶺ファームの上地登代表  
取締役を、今回ご紹介し  
ます。上地代表は、子供の頃  
から家族全員で協力し  
あって働く農業が大変好  
きで、手伝いもよくし  
高校生の頃には「俺が宮  
古の農業を変える」と公  
言されていたそうです。  
高校卒業後は本土での農  
業経営をしていました。

最初の頃は、なかなか  
上手くいかずに苦労しま  
したが、農業の原点であ  
る土づくりから見直しを  
行っていくと徐々に成果  
が表れ、またマンゴーを  
食べた方々から農場の見  
学をしたいという声が広  
がり、観光農園を十八年  
前に始めた。



**(有)大嶺ファーム  
代表取締役 上地 登 氏  
(宮古支部)**

所在地／宮古島市上野字宮国1714-2  
TEL／0980-76-2949  
事業内容／観光農園  
URL//www.utopia-farm.net

「農業を通じ、皆さま  
と一緒に感動を共有したい」と  
いう理念のもとで、経営  
者として農業への燃える  
ような情熱が核となり、  
従業員の皆さんもイキイ  
キと働き、そしてそこで  
求めた多くのお客様が來  
られる農園を築いている  
上地代表が多くを学び  
ました。(西川卓治)

度もなく、「農業のもつ  
限りない可能性への挑  
戦」を謙虚に続けていま  
ままで開催されました。講師  
は、がじゅまる観光(株)・  
社長の猪子立子氏で「宮  
古島ふるさとへの貢献」  
のテーマで行いました。

二〇〇四年に故郷の伊  
良部島に戻り、ホテルで  
いた郷の経営を任せられ  
ます。その時期の宮古島  
スガイドとして観光業に  
二十二年間携わりました。

は、がじゅまる観光(株)・  
猪子氏は、高校を卒業  
し、奈良観光に就職、バ  
スガイドとして観光業に  
二十二年間携わりました。

七月号で募集していたお題「モノノレール」の川柳  
に沢山応募していただきありがとうございました。

広報委員会での厳選な審査の結果、左記の作品が  
選ばれました。

「経営者」川柳  
入選作発表!!

一、並ぶこと 教えてくれた  
一、ゆいレール 飲んで乗つても 酔いレール  
一、つかの間の 観光気分 ゆいレール

(株)カリタス・根橋理香  
(株)みやび・小林ゆり江  
(ファイナンシャル・ジャパン(株)・大浜博文)

選ばれた作品の方々には、広報委員より素敵な賞  
品を贈呈いたします。また、次回の川柳に沢山の方々  
の応募お待ちしております。

八月二十二日、八汐荘  
にて浦西支部八月支部例  
会が二十五名の参加で開  
催され、(株)グラシアス沖  
縄の田上カルロス社長に  
「私と同友会の関わり」  
をテーマに報告していた。

田上社長は、ペルー出身  
で、日本に来たのは出  
稼ぎがきっかけでした。  
沖縄に来てから、夜間  
高校・専門学校を卒業し  
同友会の「合説」に参加  
して会員企業に入社しま  
した。入社してからは、  
入社式や共育塾、同友会  
にて浦西支部八月支部例  
会が二十五名の参加で開  
催され、(株)グラシアス沖  
縄の田上カルロス社長に  
「私と同友会の関わり」  
をテーマに報告していた。



田上カルロス氏

一度帰国しますが、同じ  
日系ペルーの方との出会い  
があり、親の出身でもあ  
る沖縄に落ち着きました。

## 浦西支部 例会 経営者の悩み解決の場!

増え、社員を雇用するも  
五ヶ月で退職し、経営者の  
悩みを共有できる場所  
がないかと思った時に、  
同友会の存在を改めて気

づきます。今では例会へ  
積極的に参加し、悩みの  
解決の場として活用して  
いると報告がありました。  
(事務局)

## 那覇支部ビジネス交流会 ビジネスPRと 同友会活動の理解目的に開催!



グループで意見交換し学びを深める

八月七日に那覇市おも  
ろまちのケニーズにて那  
覇支部仲間づくり委員会  
主催のビジネス交流会が  
開催されました。この会は  
既存会員のビジネス紹介  
や同友会の行事に参加  
し、四年前に独立し、(株)  
グラシアス沖縄を設立し  
ます。社名の由来は、沖  
縄での出会いに感謝を込  
めてスペイン語で感謝の  
意味を表す「グラシアス」  
を付けました。

経営者となり、仕事が  
飛び込み参加者も多く、  
増席しながらの対応とな  
りました。司会は仲地一  
史・武田春美地区長の息  
のあた進行で進みまし  
た。同友会の説明も初の  
試みとして大浜・當銘の  
迷コンビで演劇風の説明  
を行いました。

『良い職場とは、自分た  
ちで改善する力がある職  
場』との言葉に集約され  
るように、幾多の企業で  
職場改革を起こしてきた  
青山氏の『K A I Z E N』  
は、実効性があるものば  
かり。講義は、グルーペ  
援センターにて、オ

青山喜佐子氏を講師に迎  
え『働き方改革と業務改  
善は不離一体／みんなの  
アイディアで職場カイゼ  
ン』と題した碧の会経  
営学習会が十三参加で開  
催されました。

当日は他支部の参加や  
飛び込み参加者も多く、  
増席しながらの対応とな  
りました。司会は仲地一  
史・武田春美地区長の息  
のあた進行で進みまし  
た。同友会の説明も初の  
試みとして大浜・當銘の  
迷コンビで演劇風の説明  
を行いました。

『良い職場とは、自分た  
ちで改善する力がある職  
場』との言葉に集約され  
るように、幾多の企業で  
職場改革を起こしてきた  
青山氏の『K A I Z E N』  
は、実効性があるものば  
かり。講義は、グルーペ  
援センターにて、オ

グループ席を変えての  
ビジネスプレゼンも盛り  
上がり、終わつた後でも  
上がり、終わつた後でも

数名が改めて名刺交換し  
ながら交流を深めています。  
(大浜博文)

## 碧の会 経営学習会 社員がワクワクする 仕組みがポイント

ごとに課題を出すワーク  
ショットスタイルだった  
ので、活発に意見も飛び  
交い非常に盛り上がりま  
した。KAIZENとは、  
いかに社員がワクワクす  
るような仕組み、仕掛け  
をつくり、学び高める「し  
つけ」(教育)ができるか  
だという青山氏。

終始軽快なトークで、  
とにかく明快!わかりや  
すい! 学習会でした。す  
でに二回目を求める声も  
続出。次回はぜひ、あな  
たも参加ください。

島に来る方に観光コース  
として、豊年祭などに積  
極的に参加して頂いて、祈  
りをするツカラサと呼ばれ  
ています。宮古島の自  
然と行事を守つてていくブ  
ロジェクトチームもでき  
ましたが、観光客が増加  
している現状に危機を感  
じていると話され、その  
後のグループ討論で、觀  
光・建設などが急速に伸  
びていていることで、今まで  
の宮古島らしさ(風土・  
風習、人とのかかわり方  
など)が失われていきそう  
との意見も多くあり、一  
人一人が宮古島の良さを  
知り、自然を守ることが  
必要で、島のルールづ  
くりをしていくことが大  
事との意見も多数ありました。  
(砂川千賀子)



## 宮古島の良さを知り、 今後は島のルールづくりが大切

宮古支部新人フォローアップ講座第一講

宮古島の文化を主に觀光  
内容にしています。祈り  
の島、神の島と言われる  
選ばれました。

七月号で募集していたお題「モノノレール」の川柳  
に沢山応募していただきありがとうございました。  
広報委員会での厳選な審査の結果、左記の作品が  
選ばれました。

選ばれた作品の方々には、広報委員より素敵な賞  
品を贈呈いたします。また、次回の川柳に沢山の方々  
の応募お待ちしております。

島に来る方に観光コース  
として、豊年祭などに積  
極的に参加して頂いて、祈  
りをするツカラサと呼ばれ  
ています。宮古島の自  
然と行事を守つてしていくブ  
ロジェクトチームもでき  
ましたが、観光客が増加  
している現状に危機を感  
じていると話され、その  
後のグループ討論で、觀  
光・建設などが急速に伸  
びていていることで、今まで  
の宮古島らしさ(風土・  
風習、人とのかかわり方  
など)が失われていきそう  
との意見も多くあり、一  
人一人が宮古島の良さを  
知り、自然を守ることが  
必要で、島のルールづ  
くりをしていくことが大  
事との意見も多数あります。  
(砂川千賀子)

島に来る方に観光コース  
として、豊年祭などに積  
極的に参加して頂いて、祈  
りをするツカラサと呼ばれ  
ています。宮古島の自  
然と行事を守つてしていくブ  
ロジェクトチームもでき  
ましたが、観光客が増加  
している現状に危機を感  
じていると話され、その  
後のグループ討論で、觀  
光・建設などが急速に伸  
びていていることで、今まで  
の宮古島らしさ(風土・  
風習、人とのかかわり方  
など)が失われていきそう  
との意見も多くあり、一  
人一人が宮古島の良さを  
知り、自然を守ることが  
必要で、島のルールづ  
くりをしていくことが大  
事との意見も多数あります。  
(砂川千賀子)

上地代表から多くを学び  
ました。(西川卓治)

選ばれた作品の方々には、広報委員より素敵な賞  
品を贈呈いたします。また、次回の川柳に沢山の方々  
の応募お待ちしております。

